●第33回（令和2年度　2020）社会福祉士国家試験　試験問題

①問題 49　日本の人口に関する次の記述のうち，正しいものを 1 つ選びなさい。

1　「人口推計（2019 年（令和元年）10 月 1 日現在）」（総務省）によると，2019 年の総人口は前年に比べ増加した。

2　「令和元年（2019）人口動態統計月報年計（概数）」（厚生労働省）によると，2019 年

の合計特殊出生率は前年より上昇した。

3　「国立社会保障・人口問題研究所の推計」によると，2065 年の平均寿命は男女共

に 90 年を超えるとされている。

4　「国立社会保障・人口問題研究所の推計」によると，老年（65 歳以上）人口は 2042

年にピークを迎え，その後は減少に転じるとされている。

5　「国立社会保障・人口問題研究所の推計」によると，2065 年の老年（65 歳以上）人

口割合は約 50 ％になるとされている。

（注）「国立社会保障・人口問題研究所の推計」とは，「日本の将来推計人口（平成 29

年推計）」の出生中位（死亡中位）の仮定の場合を指す。

②問題50 「平成 29 年版厚生労働白書」における社会保障の役割と機能などに関する

次の記述のうち，適切なものを 2 つ選びなさい。

1　戦後の社会保障制度の目的は，「広く国民に安定した生活を保障するもの」であっ

たが，近年では「生活の最低限度の保障」へと変わってきた。

2　1950 年（昭和 25 年）の「社会保障制度に関する勧告」における社会保障制度の定義

には，社会保険，国家扶助，治安維持及び社会福祉が含まれている。

3　社会保障には，生活のリスクに対応し，生活の安定を図る「生活安定・向上機能」

がある。

4　社会保障の「所得再分配機能」は，現金給付にはあるが，医療サービス等の現物給

付にはない。

5　社会保障には，経済変動の国民生活への影響を緩和し，経済を安定させる「経済

安定機能」がある。

●第34回（令和3年度2021年）社会福祉士国家試験　試験問題

③問題 49

日本の医療保険制度と介護保険制度などの歴史的展開に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1 第二次世界大戦後の 1954 年（昭和 29 年）に、健康保険制度が創設された。

2 1961 年（昭和 36 年）に達成された国民皆保険により、各種の医療保険制度は国民健康保険制度に統合された。

3 1973 年（昭和 48 年）に、国の制度として老人医療費の無料化が行われた。

4 1982 年（昭和 57 年）に制定された老人保健法により、高額療養費制度が創設された。

5 2000 年（平成 12 年）に、介護保険制度と後期高齢者医療制度が同時に創設された。

④問題 50

「平成 30 年度社会保障費用統計」（国立社会保障・人口問題研究所）による2018 年度（平成 30 年度）の社会保障給付費等に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

1 社会保障給付費の対国内総生産比は、40 ％を超過している。

2 国民一人当たりの社会保障給付費は、150 万円を超過している。

3 部門別（「医療」、「年金」、「福祉その他」）の社会保障給付費の構成割合をみると、「年金」が 70 ％を超過している。

4 機能別（「高齢」、「保健医療」、「家族」、「失業」など）の社会保障給付費の構成割合をみると、「高齢」の方が「家族」よりも高い

5 社会保障財源をみると、公費負担の内訳は国より地方自治体の方が多い。

⑤問題 51

社会保険と公的扶助に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1 社会保険は特定の保険事故に対して給付を行い、公的扶助は貧困の原因を問わず、困窮の程度に応じた給付が行われる。

2 社会保険は原則として金銭給付により行われ、公的扶助は原則として現物給付により行われる。

3 社会保険は救貧的機能を果たし、公的扶助は防貧的機能を果たす。

4 社会保険は事前に保険料の拠出を要するのに対し、公的扶助は所得税の納付歴を要する。

5 公的扶助は社会保険よりも給付の権利性が強く、その受給にスティグマが伴わない点が長所とされる。

●第35回（令和4年度2022年）社会福祉士国家試験　試験問題

⑥問題 49　日本の社会保障の歴史に関する次の記述のうち，最も適切なものを 1 つ選

びなさい。

1　社会保険制度として最初に創設されたのは，健康保険制度である。

2　社会保険制度のうち最も導入が遅かったのは，雇用保険制度である。

3　1950 年（昭和 25 年）の社会保障制度審議会の勧告では，日本の社会保障制度は租

税を財源とする社会扶助制度を中心に充実すべきとされた。

4　1986 年（昭和 61 年）に基礎年金制度が導入され，国民皆年金が実現した。

5　2008 年（平成 20 年）に後期高齢者医療制度が導入され，老人医療費が無料化され

た。

⑦問題 50　日本の社会保険に関する次の記述のうち，正しいものを 1 つ選びなさい。

1　国民健康保険は，保険料を支払わないことで自由に脱退できる。

2　健康保険の給付費に対する国庫補助はない。

3　雇用保険の被保険者に，国籍の要件は設けられていない。

4　民間保険の原理の一つである給付・反対給付均等の原則は，社会保険においても

必ず成立する。

5　介護保険の保険者は国である。

第36回（令和5年度　2023年）社会福祉士国家試験　試験問題

⑧問題49　「国立社会保障・人口問題研究所の人口推計」に関する次の記述のうち，正

しいものを1 つ選びなさい。

1　2020 年から2045 年にかけて， 0 ～14 歳人口は増加する。

2　2020 年から2045 年にかけて，高齢化率は上昇する。

3　2020 年から2045 年にかけて，15～64 歳人口は増加する。

4　65 歳以上人口は，2045 年には5,000 万人を超えている。

5　2020 年から2045 年にかけて，総人口は半減する。

（注）　「国立社会保障・人口問題研究所の人口推計」とは，「日本の将来推計人口（令和

5 年推計）」の出生中位（死亡中位）の仮定の場合を指す。

第37回（令和6年度　2024）社会福祉士国家試験　試験問題

⑨問題 29　日本の社会保障の歴史に関する次の記述のうち，最も適切なものを 1 つ選

びなさい。

1　第二次世界大戦後間もなく，児童福祉法，身体障害者福祉法，老人福祉法が制定

され，福祉三法の体制が確立した。

2　厚生年金保険法の改正により，1961 年（昭和 36 年）に国民皆保険が実現した。

3　ひとり親世帯を対象とする手当の支給のために，1971 年（昭和 46 年）に児童手当

法が制定された。

4　老人医療費の無料化が 1982 年（昭和 57 年）の老人保健法の制定により行われた。

5　2000 年度（平成 12 年度）から，新しい社会保険制度として，介護保険法が施行さ

れた。

⑩問題 30 「令和 3 年度社会保障費用統計」（国立社会保障・人口問題研究所）による社

会保障の費用等に関する次の記述のうち，正しいものを 1 つ選びなさい。

1　2021 年度（令和 3 年度）の社会保障給付費の総額は，160 兆円を超過している。

2　2021 年度（令和 3 年度）の部門別（「医療」，「年金」，「福祉その他」）の社会保障給

付費のうち，「福祉その他」の割合は， 2 割を超過している。

3　2021 年度（令和 3 年度）の政策分野別社会支出の割合が最も大きいのは「家族」で

ある。

4　2021 年度（令和 3 年度）の社会保障財源における公費負担の割合は，社会保険料

の割合よりも大きい。

5　2020 年度（令和 2 年度）の日本の社会支出は，対国内総生産比でみると，ＯＥＣＤ

加盟国の中で最も大きい。

⑪問題 31　社会保障の給付に係る国の負担に関する次の記述のうち，最も適切なもの

を 1 つ選びなさい。

1　基礎年金の給付費の 3 分の 2 を負担する。

2　年金生活者支援給付金の費用の 2 分の 1 を負担する。

3　介護保険の給付費の 2 分の 1 を負担する。

4　児童扶養手当の費用の 3 分の 1 を負担する。

5　生活保護費の 2 分の 1 を負担する。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

●第33回（令和2年度　2020）社会福祉士国家試験　試験問題

①問題 49　正解　4

②問題50 　正解　３．５

●第34回（令和3年度　2021）社会福祉士国家試験　試験問題

③問題 49　正解　３

④問題 50　正解　４

⑤問題 51　正解　１

●第35回（令和4年度2022）社会福祉士国家試験　試験問題

⑥問題 49　正解　１

⑦問題 50　正解　３

●第36回（令和5年度　2023）社会福祉士国家試験　試験問題

⑧問題49　正解：２

●第37回（令和6年度　2024）社会福祉士国家試験　試験問題

⑨問題 29　正解５

⑩問題 30　正解２

⑪問題 31 正解４